

## 東部日本語ネットワーク 第14回定例会

【日時】平成25年3月16日(土) 14:00~16:00 【場所】三島本町タワー4F

【参加者】10名 (三島)石井、下田、(伊東)曾我、(伊豆の国市)久木野、(日大)井口さん、(SIR)古橋、(静岡大学)矢崎、(清水町)杉崎、(沼津)相田、虎谷(記録) (以上敬称略)

### (1) 各教室の活動状況報告

- ・清水町・・・毎週月曜日 長沢公民館で子どもの学習支援を行っている。日本人の子どもも来ることがある。ボランティアは5名(退職した男性が増えた)。もっと増えて欲しい。国語は漢字学習、算数はプリントで学習し、主に宿題を見ている。よく来ている子は学校にもついて行ける。高学年の子はテスト前だけ来る。大勢来るとボランティアの人数も足りなくて目が行き届かなく、子どもたちはどうしても騒いでしまう。落ち着いて学習させるのが課題。
- ・SIR・・・日本語教室で生活の中の日本語をテキストを使わず対話式で教えるための研修を一昨年静岡で、昨年は磐田市で行い、成果があったので、来年度は東部で開催を予定している。場所は三島か沼津はまだ決定しないが、4月以降東部ネットを通して協力者を募りたいと思っている。
- ・日大アモール・・・現在部員は14名で、のびっこクラブと共に活動している。  
2月22日に「県政さわやかミーティング」に参加し、県内で活動している学生団体と交流してきた。4月に合同報告会を行うなど、今後も学生ネットワークを維持していきたい。
- ・伊豆の国市・・・毎週火曜日時代劇場で日本語教室開催。ボランティアは交通費のみ支給で活動。現在ベトナム、インドネシア、中国の人が多い。ALTの人は最近来ていない。子どもには教えていない。レベルがばらばらで教えるのが大変。学習より話すこと自体を大事にしている。先生も毎週替わるので個人の記録をつけてお互いにわかるようにしている。  
生徒も来たり来なかったりで、来る時は大勢来るため、対応が難しい。  
イチゴ狩りやミニ文化祭も行っている。  
ホームステイも無償で行うため負担が大きく、問題も多い。
- ・伊東市・・・国際交流協会の中の日本語教室で開店休業状態。木曜日の午前、午後2、3人ずつ中国人はいるが、日本語教室に来ない。フィリピン人が4、5人不定期で学習しに来ている。  
学校になじめない子が、月、木、日本語教室に来て国、社、理を学習している。どこまでボランティアが支援していいのか、悩んでいる。
- ・静岡大学・・・NPO ONES: 静岡市の小、中学校で先生と協力しながら学習支援を行っている。  
学生にできることは、小、中の外国につながる子ども、日本人共に支援し、目指す方向性は多文化共生。子どもの時から地域でつながりを作っていけば、将来につながるの、

今年はリトルワールドキャンプのように日本人、外国籍の子どもたち一緒にキャンプを行いたいと考えている。

大学の地域連携プロジェクト：

昨年度：絵本の読み聞かせプロジェクト

地域の日本人の子どもたちにいろいろな文化があることを示す  
絵本を学生が作成し 300 冊印刷して配布。

今年度：世界の遊びとスポーツプロジェクト

静岡市、三島市、富士市で実施

富士市では第一小学校とエスコラ富士の 50 人が交流。

日本人の子が日本の遊び、ブラジルの子がブラジルの遊びを紹介。

駄菓子屋さんも出店、校長先生手作りのブラジルのケーキ販売。

・ のびっこ・・・2月10日初めての保護者会

定住するか、帰国するか、ニーズについて

保護者から日本の学制について、高校以上の学費について、中学以降の勉強について、日本社会が受け入れてくれるか心配という声があがった。

2月19日子育て支援実践研修会に参加

同じ子育てをしている身として協力してほしいと要請。

パネル展示を行った。市からも参加していて話げできた。

静大とスポーツ交流会開催。

昨年8月に外国人限定でキャンプ開催、今年は日本人外国人共にキャンプの予定。

夢基金で日本文化（茶道、野草料理、華道）体験。

麒麟福祉財団の公募が採択され来年度「親子でスペイン語」

年間20回開催予定。

いらなくなった小中学校の教科書、通信教育教材などがありましたら、  
譲ってください！

・ 三島・・・「三島日本語サークル」毎週金曜日午前図書館で日本語教室開催。

都合の悪い人は先生と個別に調整。韓国、中国、台湾、インドの人が多い。

子どもたちを各小学校で学習支援。

11月にスピーチ発表会＋お茶会開催。南米、タイ、フィリピン、中国の人が発表。

・ 沼津・・・「日本語を語る会」は学習者が減っている。新しく入ってもすぐやめる人が多いので、  
継続してもらうため、楽しく学べるように場面シラバス、対話型を取り入れる試みを始めている。

2年ごとの役員選出に苦勞している。仕事が見える化したり、仕事が一極集中しないように役割を均等化したりしている。

今年度からスピーチコンテストを自主事業として行い、日本語に限定、審査員も部

会員で行った。今後も続けていく予定。

市主導で、親子日本語ひろばを初めて開催。広報が足りないのか人数が少ないため、来年度はボランティア、親子とも増やす努力をしたい。今年度は3会場で行ったが、来年度は2会場で来てもらいやすい場所にする。

市の日本語ボランティアに登録した人を要請のあった学校に派遣する試みも始まっている。

・富士見台サポートセンター・・・

今年で7年目。今は富士市が運営している。4月からは今泉にもサポートセンター設立予定。

・CIRCULO

来年度から今まで活動していた場所が使えなくなったため、今後どこで活動をしていくかなど、早急な対応が必要になってしまった。

(2) その他

生徒の生活にどこまで踏み込んで関心を持ってよいか、難しさを感じる。特に市の開催している教室などでは気をつかう。

せめて進学に関する情報を提供するくらいまでは、踏み込んで良いのではないか。